

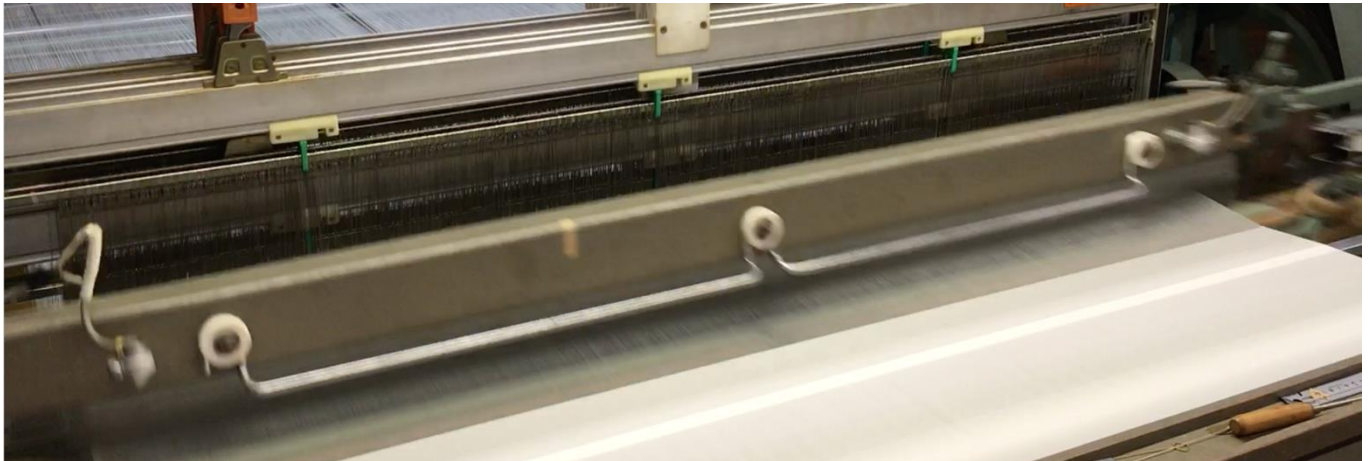


さいしょうちりめん

## 西勝縮緬復活、新しい織物の開発

岡田 倫子（滋賀県東北部工業技術センター）

技術分野：織物開発



調査をもとにかつての織物を復元、今に生かす。



企業のみなさまにつなげたい **技術**（シーズ）

新しい織物を開発する際には、過去にその土地で織られていたものを知ることが大切です。名前や用途、設計などについて文献調査や聞き取り調査を行い、不足分については科学的な根拠に基づいて仮説を立てることによってかつての織物を復元します。そこから今のニーズを取り入れることで、背景のある新しい織物の開発を行います。

品名	規格	用途	備考
西勝縮緬	100%	浴衣	
からみ織	100%	浴衣	
アパレル用帆布	100%	アパレル	
市松模様	100%	浴衣	
冬用麻織物	100%	冬用	

東北部工業技術センター所蔵の織物設計書

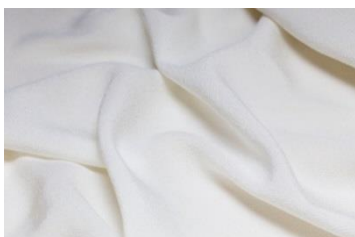


活用が想定される **分野例**

- ・ 織物製造業
- ・ アパレルメーカー など



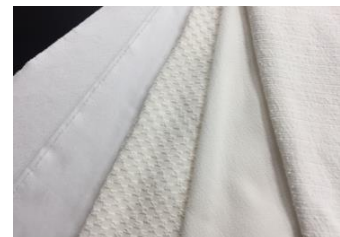
技術の **活用例**



西勝縮緬（H30 作成）



からみ織の浜ちりめん



アパレル用帆布、市松模様の浜ちりめん、冬用麻織物

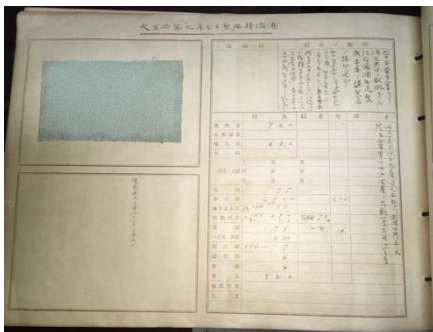


## シーズのご紹介

当センターでは、センターの前身組織である滋賀県立工業試験場の時代から試織開発による支援を行っており、試織生地設計書と一部生地サンプルは大正12年度から保管されています。

新しい織物を開発する際には、これらの設計書を参考にすることも少なくありません。また、かつて産地で織られていた生地を復元し、そこに今のニーズや他産地の技術を融合させることで新しい織物を提案することもあります。

滋賀県長浜市は和装用の高級絹織物「浜ちりめん」の産地として有名ですが、その歴史は江戸中期の1700年代にまで遡ることができます。当センターでは、浜縮緬工業協同組合で保管されていた「明治25年近江縮緬一人別製造高」に載っていた西勝縮緬<sup>さいしょうちりめん</sup>という名のちりめんを復活させる取り組みを行いました。調査を進めるうちに、今では主に着物地を作っている長浜産地が当時は様々な用途の織物を作る産地であったことも明らかになりました。得られた織物規格や記録をもとに織物設計を行い、西勝縮緬を復活させました。今後はこれを今のニーズを取り入れ、新しい西勝縮緬を開発する予定です。



発見された西勝縮緬の織物設計書



よこ糸に八丁撚糸機で撚りをかける様子



西勝縮緬で作成した兵児帯 (H29作成)

### 【公開情報：特許情報、参考文献、ホームページなど】

=インターネットや文献等で情報を確認できるものがあれば記載ください。



## 企業のみなさまへ



古いものや、他産地の技術などを活用した新しい織物開発にご興味を持たれた方は、ぜひご相談ください。もちろん、これまでに織物を作られたことのない方が新しい織物を一から設計し試織されるお手伝いもしていますので、お気軽にお声かけください。

### 【支援メニュー】

技術移転

共同研究

受託研究

技術相談・指導

### 【周辺研究】

「天然繊維を用いた新素材の試作開発」

※本シーズについてのお問い合わせは下記までご連絡下さい。  
(お問い合わせ先)

担当: 参事 三宅 肇 TEL: 0749-62-1492 E-mail: neirc@shiga-irc.go.jp